

高齢者・障害者交通費 利用限度額を500円 から1,000円へ引き 上げて欲しい

市長／利用限度額の見直し
について検討を行う



小林 知 誠 議員

高齢者・障害者交通 費助成金について

議員 これまでは1回につき、最高500円までしか利用できなかった利用券を、1,000円まで利用できるようにとの要望がある。検討をお願い。

市長 これまでも利用者の方々から、500円の利用限度額を上げて欲しいとの声を聞いている。利用限度額の見直しについては検討を行う。

福祉医療について

議員 乳幼児医療費は、平成23年度から現物給付制度になり、保護者から喜ばれている。病院での窓口払いを完全無料にすると、どれだけの財源が必要か。また、窓口払いを400円にすると、どれだけの財源が必要か。

福祉保健部長

乳幼児医療費の自己負担を撤廃し、完全無料化した場合、2,000万円。自己負担額を400円にした場合、1,000万円の財源が必要になる。

議員

2,000万円の財源があると完全無料化ができる。子育てがやりやすい南島原市にするため、県下に先駆けて完全無料化しようではないか。

市長

諸々の状況から、いきなり無料化は難しい。県下の状況はどうか。

福祉保健部長

長崎県下では、新上五島町のみが無料という形である。システムとしては、800円を窓口で支払い、後日償

還払いという形で精算をしている。

議員

新しい制度を導入するときは勇気がいる。前向きに検討するに値すると考えるが。

市長

一つの課題として検討してみたい。

教育勅語について

この質問については討論が噛み合わず、9月議会で再度質問することにした。



教育勅語

雇用を第一 優先に考えるべき

市長／就労の場の拡大は
当然である



隈 部 和 久 議員

少子化対策(雇用) について

議員 日本トータルテレマーケティング(株)(NTM社)の職員拡充案件で前々議会から続けて質問してきたが、拡充予定であった人員を、NTM社の他の支社で補充されているのか。

企画振興部長

本市で人員を拡充して行う予定の業務については、他所既に人材確保して行われている。

議員 合併後12年目を迎え、本市独自の条例・規

則の中で、変えるべきものや、見直さなければ今後に支障となるものがあると思うが、検討はなされているのか。

市長

社会状況の変化に応じて、見直すべきものは適切に対応していく必要があると考えている。

議員

是非、スピード感を持って検討し、改善していただきたい。

議員

有家町堂崎地区の海岸埋め立て地について完成後の活用を市として現在どのように考えているのか。また県と協議した事はあるのか。

市長

まず現在の進捗状況として、平成28年度末で、約78%の搬入土量で埋め立てられており、竣工予定は、平成32年7月となっている。しかし、公共工事残土の受け入れ地という名目である為、その量によって左右されるので、期間の延長もあり得る。完成後の活用については、内部の検討委員会を立ち上げ議論して

いく。県からは状況等について説明は受けており振興局との協議も行っている。

議員

あの広大な場所は本市の未来への大きな希望であると思う。いくら有能な人材を育てても、それを活かす就労の場がなければ地元に残れない。あの土地の活用について私も幾つかの案はあるが行政や議会関係者だけでなく、南島原市全体で真剣に考え、議論し、そして結論が出たなら、何としても達成する為に、一丸となって邁進すべきである。



堂 崎 埋 め 立 て 地